

++++++  
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 55 号 2019 年 6 月 4 日発行

++++++  
縄文畑の雑穀、麦、陸稲など良く生育しています。ジャガイモを植え直し、サツマイモも植えました。夏野菜も順次定植、エンドウ、夏ダイコン、九条ネギ、ニンニクなどを収穫しています。

エッセイ書きと裁縫に疲れて、野良仕事で気分転換をしています。初めて衣服を作ったのですが、バラの刺繍もして「かわいいー」と褒められたのは一瞬で、残念なことに小さくて誰も着ることができない失敗作でした。

植物腊葉標本の他、写真スライドなど、図書を整理しています。利用していただけるとうれしいです。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。

友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に広く転送伝達していただけるとありがたいです。

## ○報告

**1.東京学芸大学の野外実習で、5月18日に雑穀街道についてお話しさせていただきました。**参加は20名でした。率直な議論が出来て良かったです。

## **2. 雑穀街道とFAO世界農業遺産**

相模原市緑区長に雑穀街道について、5月8日にご説明に伺いました。ご検討くださるとのことで、お返事待ちをしています。

**3.国連家族農業の10年が始まりました。**また、インド政府提案で、2023年には国際雑穀年が行われるかもしれません。

**4.国会図書館で雑穀叢書** 黍などを複写してきました。雑穀叢書稗は古書店で見つけました。

広島に原爆が落とされた前日が出版日でした。敗戦前後の食料不足時に、雑穀栽培が奨励されていたのです。

## ○予定

1. 植物と人々の博物館開館・作業予定日：2019年6月14日、21日、28日、7月5日の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。

ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。

ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。工事中の細川邸はかなり修理が進んでいるようです。

森とむらの図書室(小菅と藤野)では順次資料の整理をし、リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

2. NPO 環境文明 21 の憲法部会では日本国憲法に追加してほしい第3章環境原則の文案の再検討と今後の学習会(国会議員会館内)について話し合っています。ご関心があれば、ご連絡ください。

3.食農教育懇談会の巡検は、7月6日(土)1時30分、青梅線羽村駅改札口集合。

福田恵一さんが羽村一中の学校農園と根がらみ前田んぼ、中車水車小屋を案内していただきます。

帰りはビールを予定、気軽なおしゃべり会にしたいとのことです。ぜひご参加ください。

4.パーマカルチャーセンターからのご依頼で、7月13日にアドバンスド・コースで「地域と雑穀(仮題)」についてお話しする予定です。

5.日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。

特に、家族農業(小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン)について学びたいです。このネットワークには個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

4.雑穀街道とFAO 世界農業遺産

FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。

来年にはぜひ申請できるように、賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.millemplific.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果(1974～2017)をまとめてあります。

<http://www.millemplific.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

5. 民族植物学ノオトは次の第13号からは電子出版のみにする予定ですが、いつでもご寄稿を歓迎します。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)で読めます。国会図書館にも所蔵されています。メールマガジンもすべて記録してあります。

会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

6. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。補論として、植物と信仰について論考を深めたいです。

『日本雑穀のむら』は第5章中部地方の雑穀文化複合、補論3 副食主菜の起源を検討しています。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。

これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。

引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますが、とりあえず「木俣(2019)」としてくださるようお願いいたします。

『環境学習原論—人世の核心』(2019)は是非一読いただきたいです。

---

自然文化誌研究会(東京都日野市):代表 中込卓男、副代表 中込貴芳(東京)、小川泰彦(埼玉)

ミュージアム研究会／トランジション小菅(山梨県小菅村):代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館(山梨県小菅村):館長 木下善晴  
日本村塾生・研究員:木俣美樹男(東京)、西村俊(石川)、藤盛礼恵(千葉)ほか  
雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>  
事務局長:黒澤友彦(山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)  
公式 HP:自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>  
植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>  
メールマガジン発行: 木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)  
雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録  
<http://www.milletimplic.net/>

